

べんから ごうし

nakagyo

いっしょにやまひよ
やさしいまちづくり

2004年 10月発行

25号



特集 ● 区社協活動について

いっしょにやまひよ

やさしいまちづくり

■編集・発行■

社会福祉法人 京都市中京区社会福祉協議会

〒604-8316 京都市中京区大宮通御池下る三坊大宮町121-2

TEL.075-822-1011 FAX.075-822-1829 <http://www.mediawars.ne.jp/fukusi06>

中京区青少年の福祉体験事業「ユースアクション2004」

この夏、82名の中高生が自分探しの旅に出ました!!

旅先は、身近な地域にある社会福祉施設（保育所・児童館・障害者通所施設・高齢者通所施設）で、約3日間、施設職員さんのサポートのもと利用者さん（乳幼児・障害のある方・お年寄り）との交流体験が行われました。

参加した中高生からは、「前から子どもは好きだったけど、もっと子どもが好きになった」「障害のある方でもふつうの人と同じように働いて生活しているということがわかった」「将来介護の仕事につきたいと思うようになった」などの感想が寄せられ、体験を通じてそれぞれが「新たな自分」との出会いを果たせたようです。



S

ボランティア団体の
会員区分新設と
役員選出の改正。



六満保育所での体験風景

特集 ● いっしょにやしまひょ やさしいまちづくり ● 中京 ●

地域福祉活動の活性化と住民の連帯感あるまちづくりをめざして—ますます広がる「多様性」。中京区社協は、中京のまちに関わりをもつさまざまな機関・施設・団体企業等が地域の「多様化」を認め、活かし合いながら一体感を感じることでできるあたたかい福祉のまちづくりをめざします。

その内容 区社協会員構成・役員 選出の改正の背景と



◆社会福祉協議会（社会福祉）をとりまく環境の変化

介護保険制度の導入をはじめとする社会福祉基礎構造改革の流れは、福祉の世界に措置から契約といった大きな変動を生じるとともに、福祉ニーズの多様化を生む結果となりました。サービスの利用者と提供者といった一対一の関係が構築されただけでは、ひとりひとりが地域で安心して暮らせる社会にはなりません。

そうした背景から、平成12年6月に施行された「社会福祉法」において市区町村社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として位置づけられ、誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを推進することがその使命と明確化されました。

◆ボランティア・NPO活動の活発化

中京区内では、地域住民が地域の生活課題を自分たちの問題として認識し、解決していくために取り組む住民相互の活動が、学区社会福祉協議会を中心に展開されていますが、

近年、とりわけ阪神淡路大震災以降、ボランティアやNPOといった従来からの自治組織とは関わりのない活動も広がりを見せています。

◆会員区分の新設と変更内容

中京区社会福祉協議会は、こうした社会や地域の変化に対応すべく、本年度より会員区分を改変し、「第5号会員 社会福祉の活動を行うもの（ボランティア団体）」を新たに設置しました。これは、従来の学区社会福祉協議会の活動を推進していくことはもとより、地域福祉の推進に参加・協働する多様な団体・組織を構成員とし、より一層地域社会の総意を結集しうる協議体としての役割を果たしていくための取り組みです。

また、法人の執行機関としての「理事」と、法人の重要な事項についての議決機関である「評議員」との役割の違いを明確にし、より一層透明な法人運営を行うために、理事と評議員の兼務を解消し、会員区分ごとに一定の理事・評議員を選出していただく方式へと改正いたしました。（図表を参照ください）

◀平成15年度決算報告▶

勘定科目	単位：円
1. 会費収入	12,142,980
一般会費収入	444,000
賛助会費収入	11,698,980
2. 寄付金収入	293,000
3. 市・府社協補助金収入	22,411,500
4. 受託金収入	6,687,068
5. 事業収入	1,689,700
6. 共同募金配分金収入	9,753,938
7. 雑収入	441,761
8. 受取利息配当金収入	9,104
9. 経理区分間繰入金収入	8,480,000
10. 地域福祉基金取崩金	0
11. 前年度繰越金	3,123,874
収入計（1）	65,032,925
1. 人件費支出	21,861,678
2. 事務費支出	3,610,318
3. 事業費支出	9,366,620
4. 助成金支出	17,053,000
5. 負担金支出	120,000
6. 経理区分間支出	8,480,000
7. 地域福祉基金積立	0
8. 予備費	0
支出計（2）	60,491,616
（1）－（2）（次年度繰越金）	4,541,309

■区社協の具体的な活動・事業 （平成16年度）

- 法人運営
- 小地域の地域福祉活動の強化
 - ・学区社会福祉協議会(学区社協)の強化
 - ・その他の学区単位の社会福祉に関わる地域組織との連携強化と活動支援
 - ・柔軟で自発的な小地域活動との連携と支援
- 区ボランティアセンターの強化促進
- 当事者と関係機関との連携強化と支援
- 情報提供機能の強化と推進
- 調査研究活動の推進
- 区民参画の活動の推進
- 区民への直接サービス事業の実施及び日常的業務の推進

どこから中京区社協は
どんなことに取り組むの？



変わったメンバーになるの？

◆「評議員」

理事・評議員兼務の場合、評議員のみの方は18名であったのが今回の兼務の解消に伴い評議員が35名と倍近くに増加されました。

このことにより、区社会福祉協議会の事業推進に多くの構成員の方に関わっていただけることとなりました。

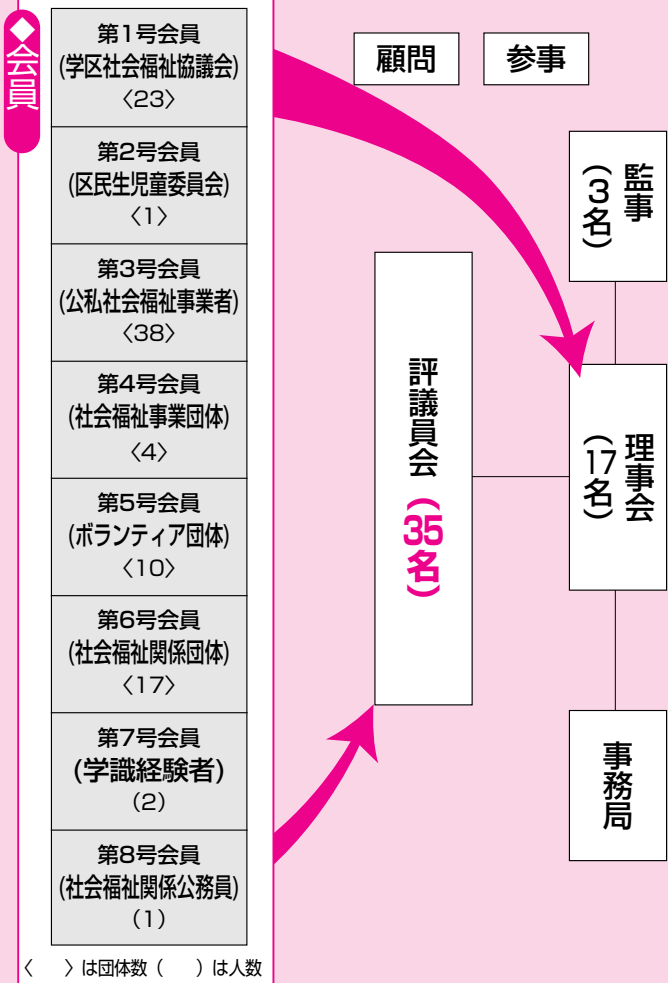
◆会員区分を新設

会員区分を新設したことにより、地域で活動する多様な団体の方に区社協の構成員として関わっていただくことが可能となりました。

その結果各方面からの幅広いご意見を会の運営に反映させていただくことにつながり「協議体」としての区社協の機能強化が期待されます。



●会員構成と役員体制図



◆地域福祉活動計画の進行管理が始まります

中京区社協は、平成15年3月に「中京区地域福祉活動計画〈第一次プラン〉」を策定しました。これは区内のあらゆる関係機関・団体・区民が協働して「多様性を活かした出会える場づくり・活動づくり・土壌づくり」をすすめながら、区民ひとりひとりにとって「やさしいまち・中京」を築いていくための5年間の行動計画です。

計画策定から一年半を迎えた今年の秋には、「中京区地域福祉活動計画〈第一次プラン〉」の実施状況・到達度について検証し、状況に応じた計画の見直しに向けて検討を進める「中京区地域福祉活動推進協議会」が立ち上がります。

区内の学区社会福祉協議会・ボランティアグループ・当事者組織・社会福祉施設・地域団体や関

係行政機関といった多様な関係者で構成される推進協議会では、活動計画に掲げた内容がどのくらい進んでいるのか、またはどうしたら区民ひとりひとりにとって「やさしいまち・中京」を築いていけるのか、その方法や活動の展開について議論し検討を進めていきます。

※中京区地域福祉活動計画は、中京区社協HPから内容を見ることができます。

中京区社協HPアドレス

<http://www.mediawars.ne.jp/fukusi06>

なお、今回、中京区地域福祉活動推進協議会内に設置される作業委員会のメンバーを区民の皆様から若干名募集いたします。この機会に誰もが安心して暮らせる中京のまちづくりと一緒に考えませんか？ 多くの方のご応募をお待ちしています。

中京区地域福祉活動計画推進協議会
作業委員会区民公募委員募集

〈募集人員〉2名

〈任期〉平成16年晩秋から平成17年度(予定)

〈応募資格〉①中京区にお住まいの方で引き続き中京区にお住みになる方(区内に住居登録又は外国人登録のある方。日本語を理解できる方に限ります)②年齢20歳以上の方③国、地方公共団体の議員又は常勤の公務員でない方
以上すべてを満たす方

〈応募締切日〉平成16年10月29日(金)
当日消印有効

〈応募方法〉専用の応募用紙に必要事項を記入の上、小論文(課題設定あり)を添えて、中京区社会福祉協議会へ郵送又はファクリミリでご応募ください。

〈審査方法〉ご応募いただいた書類をもとに、中京区社会福祉協議会に設置する選考委員会で審査を行います。なお、提出いただいた書類は返却いたしませんのでご了承ください。

※応募用紙は、中京区社会福祉協議会に用意いたしております。ご希望の方は、区社協事務局(TEL822-1011)までご連絡ください。

中京区ボランティアセンター 掲示板

区民講座のご案内

■ ボランティア入門講座のお知らせ

中京区ボランティアセンターでは、平成16年度の下半期に以下の講座の開催を予定しています。

「ボランティア活動をしたいけど、どんな活動があるんだろう？」という方や、「このボランティアをしたいという思いは固まっているが、まったくにも知らないの、あと一歩が踏み出せない」という方にオススメです。

詳しくは、町内回覧や市民新聞区民版等でお知らせしますので、ご関心のある方は、奮ってご参加ください。



開催月	講座名	講座概要
11月	介護ボランティア養成講座	お年寄りや体に障害のある方にかかわる介護技術について楽しく学べる講座です。 初歩的な介護の技術に加えて、疑似体験や講義を通じてお年寄りや体に障害のある方の体とところに対する理解が深まる講座です。
2月	点字入門講座	点字をはじめとする支援技術について楽しく学べる講座です。当事者やボランティアをされている方のお話を通じて視覚に障害のある方への理解が深まる講座です。
3月	要約筆記入門講座	難聴者の社会参加のため、普段の会話や講演などで、耳代わりとなり内容を要約し書いて伝える方法が要約筆記です。実技はもちろん当事者やボランティアの体験発表を織り交ぜた内容で、難聴者への理解が深まる講座です。

Topics

広がります

高齢者サロン・きつずぱあく。

Topics1 広がるきつずぱあく～フリースペース

地域の子育て支援活動として取り組まれている「きつずぱあく～フリースペース」が新たに朱三学区(平成16年4月から)・日影学区(平成16年9月から)で始まっています。乳幼児の親子の遊び場です！お気軽にご参加ください。

★きつずぱあく in 壬生～フリースペース

第1月曜日・10:30～12:00
松原中学校3階コミュニティールーム

★きつずぱあく in 日影～フリースペース

第1木曜日・10:00～11:30
高倉小学校ランチルーム



Topics2 健康すこやか学級事業(高齢者サロン) 進行中！

高齢者の方が定期的に気軽に集っていただき楽しい時をすごしていただけるサロン(健康すこやか学級事業)の取り組みが今年の6月から龍池学区でも始まりました。平成12年の介護保険制度の導入と併せて地域で始まったこの事業も現在、区内15の元学区で取り組まれています(詳細は、べんがらごうし第23号/2003年7月発行を参照ください)。介護予防・地域での仲間づくりを目的に実施されているサロンへ、一度足を運んでみませんか。

★龍池すこやかサロン

第3水曜日・13:30～15:30
龍池自治連合会室

